



カリッサ・ムーア選手と ムーア・アロハ財団が

MOORE ALOHA mini-camp
in MAKINOHARA

牧之原市に やってきた!

2020東京五輪女子サーフィン競技金メダリスト「カリッサ・ムーア選手」が運営する「ムーア・アロハ財団」のメンバー14人が11月29日(金)から12月2日(木)まで当市を訪れました。これは、2020東京五輪のレガシー創出や継承を目指したホストタウン推進事業の一環であり、昨冬に「まきのはらジュニアズアクションスポーツクラブ(以下MJr'sASC)」がハワイを訪れて交流したことがきっかけとなり実施。一行はサーフィンや日本文化体験などをおして、市の地域資源や文化に触れ、市民と交流しました。

問い合わせ 秘書広報課 道野 ☎0040

詳しくは、市ホームページをご覧ください。



1日目

市内に到着した一行は、市花の会や MJr'sASC からガーベラなど牧之原市産の花を使って作られた「レイ」をプレゼントされ、熱い歓迎を受けました。



▲カリッサ選手とMJr'sASCの子どもたちで記念写真(静波リゾートホテル・スウィングビーチにて)

3日目

- ▶ 静波海岸でサーフィン
- ▶ ミカン狩り
- ▶ グリンピア牧之原見学
- ▶ 和菓子作り体験
- ▶ にぎり寿司作り体験 など



2日目

- ▶ ビーチクリーン(海岸清掃)
- ▶ 静波サーフスタジアムでのサーフィン、MJr'sASCとの交流
- ▶ 着付けや茶道など日本文化の体験 など



4日目

杉本市長への表敬訪問では、一行から滞在中の思い出の報告や、お礼としてフラダンスを披露しました。榛原中学校では、2年生による歓迎セレモニーに参加。学校紹介や剣道の模範演技、学年全体による合唱と生徒自らが企画した内容にカリッサ選手をはじめとする一行は大変満足していました。

